



モニター通信



モニター通信を市ウェブサイトに掲載しております。ページID検索で「1017849」と検索してください。



ごみ減量親子モニターを実施しました！



市内の小学生とその保護者を対象に、ごみと資源に関する講義や工場見学を通じてごみの減量やリサイクルについて学んでいただきました！



テーマ

プラスチックについて学ぼう！

7月25日（月）・28日（木）実施



ごみと資源の学習



ペットボトルのリサイクル工場を見学



花王グループによる特別講座



親子モニターにご参加いただいた小学生の皆さんのレポートを一宮市立中央図書館で掲示します。

期間：令和4年12月16日（金）10：00～23日（金）16：00

※一宮市立中央図書館の開館時間に準ずる

場所：一宮市中央図書館（栄3丁目1番2号 尾張一宮駅前ビル『i-ビル』）

5階児童図書エリア（図書館内専用エレベーター北側）

掲示物：プラスチックについてのレポート

※市のウェブサイトにて参加児童のレポートを掲載しています。ページID検索で「1052402」と検索してください





令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

大和西小学校 三年生 名前 服部七咲

わたしは、プラスチック工場を見学して、工場の人があつい中で手作ぎょうでゴミを分けていることを知りとてもたいへんだなと感じました。だからこそ、家ではしっかり分べつして、プラスチックゴミはよごれをすすいですてようと思いました。家族にもきょうかしてほしいとおねがいしました。プラスチックはすてべんりてひつような物だけけどプラスチックゴミをへらすために、つめかえ用の商品をえらんだり、エコバックを使うようにしていきたいと思いました。見学をしてプラスチックしげんのリサイクルの大切さを知ったのでこのことをみんなにももつと知ってもらいたいと思いました。

木曾川かんきょうクリーンで学んだこと

集められたごみ



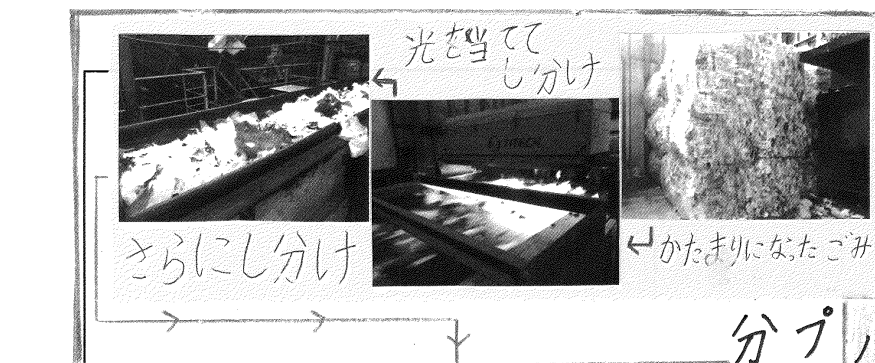
人の手でも分けられる
ぎけんな物が入っていることもある

家から出たごみのわりは、入れ物(容器)と包む物(包)なので使い終わら後、もう一度生まれ変わらせることができたりたくさんのごみをへらすことができず、必ず「**リ**」のマークがついている物で、中身を使い切って洗って出す。よおけると可燃ごみになってしまふ。

パックスで学んだこと

プラスチック容器包そうは種類ごとに分けてリサイクルされる。

PE ポリエチレン PP ポリプロピレン 氷がぶ



① PP・PE ② ぐんぐん ③ 水はうがへる ④ 細かくぐんぐん

⑤ 洗う ⑥ 分ける ⑦ だっ水 ⑧ かわかす

この後ペレットというつぶになり、プラントやオーブリンのペレットなどにリサイクルされる。

② 廃ポリスチレンをリサイクルされる。

③ その他(サイクルできないもの)燃料になる。

令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

箕栗北小学校 4年生 名前 木村陽介

社会のじゅ業でごみについて勉強したので、家から出したごみがどうなるのか知りたいと思ってさんかしました。プラスチックごみはしゅう集車で集められ、リサイクル会社で他の物がまざってないか手作業でかくにんし、つぶされ、かたまりになります。その後別のリサイクル会社で種類分けなどをして、リサイクル原料や燃料になります。たくさんの方が関わっているのにおどろいたし、リサイクルの苦勞などをたくさん知る事ができました。プラスチックごみを出す時、気をつけたいいけない事が2つあります。

1つ目は、ふくろに他の物はせたい入れない事です。リサイクルが大変になるし、入っていたリチウムイオン電池がばく発して、しゅう集車や工場が火事になる事もあるそうです。2つ目は、よく洗っている物は洗って出すことです。集められてから洗うのにはとてもお金がかかります。それに工場見学をした時、すごくくたくたで、仕事をしている人は大変だと思いました。よくもリサイクルが当たり前、原則の生活を心がけたいです。

ごみを減らすため リサイクルは とても大切

① 生活の中で

- ・マイバック持参
 - ・マイボトルを持ち歩く
 - ・プラスチックを減らす
 - ・プラスチックをやめる
- etc



②



- 買ったものにこの
マークがついていた
- ・プラスチックごみとして出す
 - ・汚れていたら必ず洗う
- 汚れが落ちないものは
可燃ごみへ

リサイクル工場ではリサイクルさせて
プラスチックの粒や燃料として生まれかわる。

容器包装
リサイクル法

(この時しかり分別されていなかったり、汚れが落ちないものが入っていると
工場の仕事が入って大変なので、分別は、とても大事。)

丹陽西

小学校

四年生

名前：溝口知夏

令和4年7月25日(月) プラスチックの講座

私はお母さんと二人でごみ減量のプラスチック講座と、工場見学に行きました。

初め、プラスチックについて学び、その後花王の方に海洋プラスチック問題、それから五人や会社などの努力でごみをへらしていこう。ということをお教へてもらいました。

次に木曾川町にある工場に行きました。その工場では、自分達の家から出るごみをもう一度分別をして、火災がおきやすいプラスチックなどを取りのぞきます。その時にちゃんと分別しておけば、手間があまりかかりません。なので、ちゃんと分別することを心がけよう。ということをお教へていただきました。

最後に関市にある工場に行きました。そこでは、分別する工場から運ばれたプラスチックごみを洗って、やいて、細かく切つて、

ペレットのようにする工場です。どちらの工場も、おいと手間が問題になっています。分別をちゃんとすると手間が減り、軽く洗ってから捨てるしにおいがなくなります。なので分別などのルールを守ら

なくてはいけません。分別がわかりました。身近なことから始めると、たくさんごみ減量につながるのだ、がんばりたいと思いました。